

科目名		灸実技 2							年度	2025
英語科目名		Moxibustion Practice 2							学期	後期
学科・学年		鍼灸科 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実技
担当教員		宮本 陽平	教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		
【科目の目的】 様々な灸に関する基本的な技術と知識を修得し、安全かつ確実に行う能力を身につける。 臨床家としての態度、姿勢を身につける。 人体へ安全かつ確実に透熱灸の施術ができる。知熱灸、棒灸、隔物灸を安全に施術できる。 医療人としてふさわしい態度、身なりで施術できる。										
【科目の概要】 灸（きゅう）施術の基本技術について実習します。										
【到達目標】 A：知熱灸の艾柱を小指頭大で作成し、施術できる B：知熱灸を安全に連続で施灸出来る C：透熱灸紙上施灸を竹筒で行い、紙に穴を開けないようにする。 D：相手に対し透熱灸の熱緩和操作ができる										
【授業の注意点】 授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	作成した艾柱が一定して規定の大きさである	作成した艾柱のうち、規定の大きさで99～70％捻れる	作成した艾柱のうち、規定の大きさで69～40％捻れる	作成した艾柱のうち、規定の大きさで39～10％捻れる	規定の大きさが捻れない					
到達目標 B	同時に5壮点火できる	同時に4壮点火できる	同時に3壮点火できる	同時に2壮点火できる	1壮ずつの点火になる					
到達目標 C	100壮で穴の数が0	100壮で穴の数が1	100壮で穴の数が2	100壮で穴の数が3	100壮で穴の数が4以上					
到達目標 D	熱緩和を行い熱感を与えずに施灸できる	熱緩和の成功率が99～80％である	熱緩和の成功率が79～60％である	熱緩和の成功率が59％以下である	熱緩和が全くできない					
到達目標 E										
【教科書】 『はりきゅう実技＜基礎編＞（東洋療法学校協会編）』										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】 期末試験で100％評価する										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		灸実技 2				年度	2025
英語表記		Moxibustion Practice 2				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	透熱灸 知熱灸	知熱灸の施術	1	艾柱の捻り方	低精製艾を用いての指頭大艾柱の作成法を理解する	2	
			2	艾柱作成	指頭大の艾柱を作成する		
			3	透熱灸熱緩和	熱緩和法を理解する		
2	透熱灸 知熱灸	知熱灸の施術	1	点火、処理	艾柱への点火と処理を実践する	2	
			2	施灸	自分の身体へ知熱灸を施術する		
			3	透熱灸熱緩和	自分の身体で緩和法を実践する		
3	透熱灸 知熱灸	知熱灸の施術	1	施灸	相手の身体へ知熱灸を施術する	2	
			2	透熱灸熱緩和	自分の身体で緩和法を実践する		
4	温灸 透熱灸	艾条灸施術	1	艾条灸施術	艾条灸の施術方法を理解する	2	
			2	艾条灸施術	艾条灸で相手に施術する		
			3	透熱灸熱緩和	相手の身体で緩和法を実践する		
5	温灸 透熱灸	生姜灸施術	1	生姜灸施術	生姜灸の施術方法を理解する	2	
			2	生姜灸施術	生姜灸で相手に施術する		
			3	透熱灸熱緩和	相手の身体で緩和法を実践する		
6	温灸 透熱灸	塩灸施術	1	塩灸施術	塩灸の施術方法を理解する	2	
			2	塩灸施術	塩灸で相手に施術する		
			3	透熱灸熱緩和	相手の身体で緩和法を実践する		
7	温灸 透熱灸	温筒灸、台座灸施術	1	温筒灸、台座灸施術	温筒灸、台座灸の施術方法を理解する	2	
			2	温筒灸、台座灸施術	温筒灸、台座灸で相手に施術する		
			3	透熱灸熱緩和	相手の身体で緩和法を実践する		
8	温灸 透熱灸	温灸器をもちいた施術	1	温灸器	温灸器の使用方法を理解する	2	
			2	温灸器	温灸器で相手に施術する		
			3	透熱灸熱緩和	相手の身体で緩和法を実践する		
9	温灸 透熱灸	焙烙灸施術	1	焙烙灸施術	焙烙灸の施術方法を理解する	2	
			2	焙烙灸施術	焙烙灸で相手に施術する		
			3	透熱灸熱緩和	相手の身体で緩和法を実践する		
10	温灸 透熱灸	濡れ紙灸施術	1	濡れ紙灸施術	濡れ紙灸の施術方法を理解する	2	
			2	濡れ紙灸施術	濡れ紙灸で相手に施術する		
			3	透熱灸熱緩和	相手の身体で緩和法を実践する		
11	透熱灸	透熱灸施術	1	試験対策練習	試験の内容を理解する。	2	
				試験の内容で練習する			
12	透熱灸	透熱灸施術	1	試験対策練習	試験の内容で練習する	2	
13	灸治療	風邪の灸治療	1	風邪の灸治療	使用する経穴、灸法を理解する	2	
			2	風邪の灸治療	使用する経穴の取穴を実践する		
			3	風邪の灸治療	相手に施灸する		
14	灸治療	胃の六つ灸	1	胃の六つ灸	使用する経穴、灸法、適応を理解する	2	
			2	胃の六つ灸	使用する経穴の取穴を実践する		
			3	胃の六つ灸	相手に施灸する		
15	灸治療	頭部の施灸	1	頭部の施灸	使用する経穴、灸法、適応を理解する	2	
			2	頭部の施灸	使用する経穴の取穴を実践する		
			3	頭部の施灸	相手に施灸する		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							